

令和6年度 外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業

「がん教育外部講師派遣」報告書

学校等名 大村市立桜が原中学校 担当者名 下村 順子
 電 話 0957-55-1166 F A X 0957-55-1167

実施日 令和 6 年 12 月 13 日(金) 13 : 00 ~ 16 : 00

場 所 大村市立桜が原中学校 体育館

講座名 がん教育講演会「がんについて正しく知ろう」

講 師 訪問看護ステーション Clamp 管理者 寺尾敦 氏 (がん専門看護師)

近隣校 案内先: 大村市小中学校養護教諭 計 20 校
 への案内

参加者	児童・生徒 学年	学校職員	保護者	他校職員等	その他 (1)
	(228)人	(13)人	(0)人	(0)人	総計(242)人

テーマと がんについて正しく理解し、がん予防のために今できることは何か考える。
 内 容 命について考え、自他の命を大切に作る心を育てる。

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果>

- ・がん細胞が分裂を繰り返し、1cm になるまでには 10~20 年かかる。1cmから 2cmになるには、1、2 年で大きくなる。→今のうちから健康に気を付ける事が大切。
 - ・がんは 2 人に 1 人はなると言われている、しかし医学の進歩もあり 3 人に 2 人は、元の生活を送ることができている。がんを見つける技術や治療法が良くなり 5 年生存率が上がっている。早く見つけ対応する事が大切。→定期検診の重要性。
 - ・大切なことは、生活習慣を整え、がんのリスク(たばこ、お酒、食事、運動など)を減らすこと。
- 生徒の感想から、生活習慣の見直しや定期健診の重要性を学んだのはもちろんだが、「がん」=死ではなく、それからをどう生きるか、命の大切さ、がん患者へのサポートなど考える良い機会となった。

<今後の取組及び課題>

- ・講演会の内容を保健だよりにまとめ、家庭でもがんについて考えてもらえるよう全家庭へ配付した。
- ・今後も定期的に講演会を実施し、がんなどの病気に関する知識を高め、基本的な生活習慣の啓発を行う。